

# 計画の目標

計画では3つの目標と12の施策の展開例を掲げています。

## 目標

## 施策の展開例

5 効率的で  
利便性の高い  
公共交通網の整備

- ・市内バス路線の再編
- ・地域内交通の導入
- ・主要幹線バス運行の改善
- ・光市営バス運行の改善



利用しやすい  
交通結節機能の  
充実

- ・交通結節点の環境整備
- ・乗継機能の改善
- ・バス停周辺の待合環境整備
- ・わかりやすい乗継情報の提供



市民とともに  
守り支える  
環境づくり

- ・「(仮称)光市公共交通情報冊子」の作成
- ・市民へのモビリティ・マネジメント\*の実施
- ・観光客の利用促進
- ・牛島航路の観光客の利用促進



## 目標の評価指標

光市まちづくり市民アンケートによる  
「バス交通網の整備」に対する満足度

18.2% (H28) → 21.4% (H33)



路線バス利用者数(年間)

700,000人/年 (H33)

664,540人/年 (H27)



光市まちづくり市民アンケートによる  
「交通結節機能の充実」に対する満足度

15.5% (H28) → 19.5% (H33)



鉄道利用者数(1日あたり)

3,450人/日 (H33)

3,275人/日 (H27)



公共交通に関する説明会の開催回数

— → 4件/年 (H33)



路線バスにかかる  
市の実質負担額

2,650万8千円 (H27) → 現状程度 (H33)



\* 「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組みを意味するもの。